



カザフスタン 企業訪問調査レポート【7】

PKF TEXTILINE LLP / MIMIORIKI LLP

～ 製造・販売業（衣料品）～

カザフスタン共和国 Republic of Kazakhstan

基礎データ

面積	272万4,900平方キロメートル
人口	1,716万人(2014年1月1日現在)
首都	アスタナ(人口87万人)
実質GDP成長率	1.2%(2015年)
名目GDP総額	1,843億5,920万ドル(2015年)
1人当たりの名目GDP	1万508ドル(2015年)

出所：JETROホームページ 国・地域別に見る「ロシア・CIS カザフスタン概況(2016年6月更新)」

■ 調査月日	2015年 7月3日
■ 分野	製造・販売業(衣料品)
■ 為替レート	1ドル≒186.910 カザフスタン テンゲ(2015年7月平均値)

◆ はじめに

TEXTILINE社は会社の制服や作業服、スポーツウェア、子供服を生産する大手企業で、1997年にカザフスタンで初めて衣料メーカーとして設立された企業。


2001年からスイスのサイクリングウェア・メーカーASSOS(アソス)社に製品を供給し、2010年からはadidas他からも受注するようになった。

TEXTILINE社は設立以来OEM生産を中心に行ってきたが、2009年に新生児から9歳までの子供を対象とした自社ブランドLLP MIMIORIKI社を設立している(生産はTEXTILINE社に発注)。MIMIORIKI社はカザフスタン初の子供服ブランドで、欧州の品質水準を保ちつつ、価格はヨーロッパの製品より安い(トルコや中国よりは高い)が、国内平均水準を一步抜きんてた品質を目指している。



“MIMIORIKI”とは3人のキャラクター：MIMI、MIO、RIKIを合わせた造語


◆ 企業概要

社名	PKF TEXTILINE LLP	
住所(本社)	Almaty, st. Furmanova 65 yr. Eメール:sales@textiline.kz	
URL	http://www.textiline.kz/	
設立年	1997年	
従業員数	MIMIORIKI社と合わせ約900名(内工場従業員120名)	
工場	6カ所:アルマトイ市(本社住所と同じ) [アルマトイ州]テケリ市、タルガル市 [東カザフスタン州]カラガンダ市、リッデル市、ズイリャノフスク市	
海外支店	[ロシア・ケメロヴォ州]ノボクズネツク市 —ロシア国内ほか東欧を含むヨーロッパに支店拡充を計画中—	
売り上げ	年間1,500万ドル(国内3割 輸出7割)	
主な製品	【作業服】 ジャケット、ズボン、繋ぎ服、セーター、コート、シャツ、帽子、手袋 等 【スポーツウェア】 ユニフォーム(サッカー、バスケットボール、バレーボール)、帽子、ジャージ、Tシャツ、ポロシャツ、防寒用上下 等 【子供服】 ジャケット、ズボン、シャツ、ドレス、スカート、アンサンブル、Tシャツ 【ニット】 セーター、ポロシャツ、ジャケット、ベスト、ボレロ、帽子、スカーフ 等	



TEXTILINEの工場作業風景

TEXTILINE社は、国の産業発展計画により2011年に5億8,000万テンゲ(年利14%)の融資と、欧州復興開発銀行およびドイツ国際協力公社による技術協力を受けている。

社名	MIMIORIKI LLP	
住所(本社)	Almaty, st. Makatayev, office 209 Eメール:sales@mimioriki.kz	
URL	http://www.mimioriki.kz/	
設立年	2009年	
販売店	直営店:3店舗(アルマトイおよびアスタナ市)、フランチャイズ店:11店舗(主要都市)、海外店:1店舗(モスクワ)	
取り扱い商品	0~9歳の子供服(本レポートp.5~6「参考資料」参照)	
売り上げ	年間1,500万ドル(国内3割 輸出7割)	
社是	着心地の良い高品質の商品を提供して消費者のニーズに応え、各市場において競争力を高める。	
フランチャイズ	フランチャイズ出店する際、初期投資として通常9万米ドルを要し、契約には下記の条件がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・都市中心地のショッピングモール内に出店すること ・売り場面積は100㎡を下回らないこと ・店主は少なくとも5年間の販売経験があること ・加盟金:15,000ドル、ロイヤリティ:年間売り上げの3% 	



MIMIORIKIの店舗

◆ 従業員教育

国内の縫製業界では有能な人材が不足しており、人材育成には限界がある。そのため、従業員をドイツや英国などの取引先企業にインターン研修へ出したり、それら企業の職員を社内研修の講師として招聘している。また、国際見本市やフォーラム、セミナーなどに従業員を積極的に参加させるなど、多大な経費を従業員教育に費やしている。

◆ 原材料の主な仕入れ先

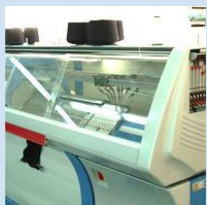
- 布地等:トルコ、ウズベキスタン、キルギスタン
- 付属品(ボタン、ファスナー等):ロシア、EU諸国。



ボタン等の付属品

◆ 保有機材・設備

政府の補助金や銀行の産業開発ローンなどを利用し、これまでの10年間で500万テンゲを投じて以下の生産設備を揃えてきた。



ニット機械(ドイツ製)

オールシーズンの製品に対応でき、網織り、ジャガード編み、かぎ針編み、丸編みなどが可能。



刺しゅう機

(Barudan 日本製 / ZSK オーストリア製)
コンピュータ制御の精密刺しゅう機。
多色系刺しゅうが可能。



プリント機(MHM オーストリア製)

コンピュータ制御で、多色、複雑な図柄が刷り斑やずれることなく仕上がり、頻繁な洗濯にも耐える堅牢なプリントが可能。



プレス機

部品および完成品仕上げ用の熱蒸気プレス機。



自動帽子プレス機



ミシン

(ブラザー、JUKI 日本製 /
PFAFF ドイツ製 / ヤマタ 米国製)

◆ 他企業と比べた強み

国内企業の中では、縫製やニット織り、染織、刺しゅうなど製造作業のごく一部しか行わない企業が少なくない。その意味で、全工程を揃え、いち早く独自ブランドを作ったTEXTILINE社は、他社に比べ一歩リードしていると言える。しかし今後は「KAZBRAND計画」に支えられ、業界全体が独自ブランド作りに関心を持つようになることが予想される。

◆ 競合他社

Mothercare、ZARA、LC WaIKIKI、BENETTON、GAP、SELLA、SAVAGEなど欧米やトルコ、ロシアなどの外国メーカー。国際水準に達しない外国企業や、国内企業はライバルと認識していない。

MIMIORIKIにおいては、Mothercare、Chicco、ORCHESTRA、s.Oliverなどのヨーロッパブランドがライバルであり、ロシアではRikki-tikki、Nakhalenok、Etti-Dettiなど幾つかの有力地元企業と競合している。

◆ カザフスタンの衣料品市場と今後の計画

カザフスタンの衣料品市場は95%が輸入品で、国産品のシェアは5%に過ぎない。そこで政府は国産ブランド創出計画“KAZBRAND”を2016年から始動する。同計画は、政府の輸出投資振興機関であるKaznexが中心となり、32のアップルメーカーを選定して3～4種類の国産ブランドを生み出すものである。

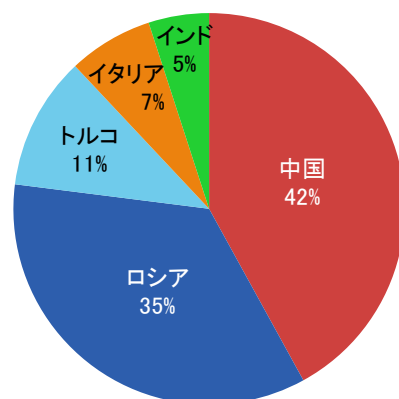
- 衣料品産業は景気の好不況に大きく左右され、2010年まではリーマンショックの影響から大手企業でも収益が30%減少した。その後は景気が回復し、また、ユーラシア経済連合の成立に伴う2億人のマーケット出現に伴い、今後の見通しは明るいとTEXTILINE社はみている。
- 衣料品市場では、子供服と妊産婦服、そしてサイズの大きい服の供給が極めて限られている。MIMIORIKI社は年2回、約50種類の新製品を発表している。
- 最近女性の高齢出産の傾向が少子化に繋がり、衣料品業界に影響を受けるのではないかと懸念もある。しかし、カザフスタンとロシアは、人口の増加が2020年まで続くと思われる。子供服への支出も盛んなことから、子供服市場は今後年間15～20%の伸びを見せるとみられている。

TEXTILINE社はOEMからスタートし、BtoBビジネスが中心の業態であるが、消費者への小売りにシフトして行くべく、以下の点に注力している。

- MIMIORIKIブランド商品とその販売網の拡充
- 今後5年の間にフランチャイズ形式でロシアに30店舗の特約販売店を設置

次のターゲットはロシア市場。ロシアの市場規模はカザフスタンの23倍あり、ヨーロッパ市場ほど競争が熾烈ではない。国のKAZBRAND計画が効果的に実施されれば、ロシア進出への強い追い風となると予想される。

【衣料品輸入先】



◆ 課題

(1) 人材(縫製技術者)不足:

月給は400～500ドルが相場となっているが、若い女性は縫製作業を嫌がり、より給料の良い石油関連産業の仕事に人気がある。また石油関連産業での給与上昇に影響を受け、人件費が全体的に上昇している。スーツのポケット付けなどが既に機械化されているが、子供服の分野では現状、まだほとんどの工程を手作業に頼っており、技術者の人件費は生産コストの約10%を占めている。近隣のキルギスタンやウズベキスタンでは、カザフスタンでの賃金の半分程度で技術者を雇用できると言われている。ユーラシア経済連合加盟により、キルギスとの国境の行き来が自由化されたため、TEXTILINE社は国境付近に工場を設置することを検討中である。

(2) 原材料の調達:

カザフスタンの輸出の中心は天然資源や原材料で、軽工業産業はいまだ重要視されていない。そのため、綿花や皮などの原材料は、ほとんどそのまま輸出されている。TEXTILINE社などの縫製メーカーは、国内の原料が産出されているにもかかわらず、外国から原材料を調達しなければならない。

(3) 同業他社の出店・進出:

MIMIORIKIブランドと同じような店が増えており、また、外国メーカーの進出が盛んなことなども脅威となっている。

◆ 日本企業へ期待すること

日本からの技術導入や日本市場への進出には関心がある。

学校制服等



MY FLORET (春・夏用)



MISS FLO (春・夏用)



JETRO

◆ 参考資料:MIMIORIKI 商品 (2015年)

SMILE(春・夏用)



SPORT KZ(春・夏用)



MINI MOSNTER CLUB



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。